

第六十四回帝國議會
衆議院

船舶安全法案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案

船舶安全法案(政府提出)
船舶職員法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和八年二月二十日(月曜日)午後一時四十分分開議

出席委員左ノ左シ

委員長向井 倭雄君

理事眞鍋 勝君 理事村上紋四郎君

伊坂秀五郎君 山村豐次郎君

金城 紀光君 佐々木平次郎君

小谷 節夫君 荒川 五郎君

山本 厚三君 風見 章君

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 南 弘君

出席政府委員左ノ如シ

逓信政務次官 牧野 良三君

逓信參與官子爵 立花 種忠君

逓信省管船局長 淺野 平二君

逓信省經理局長 富安 謙次君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

船舶安全法案(政府提出)

船舶職員法中改正法律案(政府提出)

○向井委員長 ソレデハ只今カラ開會致シマス、本委員會ニハ船舶安全法案ト、船舶職員法中改正法律案ノ二件ガ付議サレテ居

リマス、先ヅ逓信大臣ヨリ此兩案ニ對スル御説明ガアルサウデスカラ、ソレヲ聽イタ上デ質問ニ入ルコトニ致シマス

○南國務大臣 船舶安全法案提出ノ理由ハ、

既ニ本會議ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、海上ニ於ケル人命安全ノ爲ノ國際條約及ビ國際滿載吃水線條約ヲ我國ニ於テモ實施致スガ爲ニ、現行ノ關係諸法規ヲ相當改正スル必要ヲ生ジマシタコト、一面船舶ノ安全ニ關シマスル我國ノ現行法規ハ、事項ノ異ナル毎ニ獨立ノ法規トシテ定メラレデアリマシテ、而モ其大部分ハ制定以來既ニ長年月ヲ經過致シテ居リマシテ、其後大ナル發展ヲ遂ゲマシタ所ノ我ガ海運ノ實情ニ照シマシテ、之ニ副ハナイ所ガ多々アリマスルガ爲ニ、相當之ニ改正ヲ加フル必要ヲ生ジマシタコトニ因ルノデアリマシテ、現行關係諸法規ヲ、本法ニ依リマシテ整理統一一致シマシテ、之ヲ單一法ニ致シタノデアリマス、元來構造設備ノ検査ヤ滿載吃水線ノ指定、無線電信施設ノ強制ノ如キハ、總テ海上ノ安全ヲ確保セントスル同一ノ目的ニ出ヅルモノデアリマシテ、隨テ

之ヲ單一法規ニ纏メマスルコトガ極メテ便宜デアリマスコトハ、世界主要海運國ノ法制ニ徴シマスルモ明カナコトデアリマス、ノミナラズ滿載吃水線ノ指定ハ、構造設備ノ検査ヲ前提トスルモノデアリマシテ、兩者ハ事實上密接離ルベカラザル關係ガアリマスルノデ、是等ノ關係法規ハ之ヲ單一化スルコトヲ適當ト認メタ次第デアリマス、

本法案中主要ナ改正事項ト致シマシテハ、船舶ノ構造設備ノ規格ヲ整備致シマシタコト、滿載吃水線ノ標示及無線電信ノ施設ヲ要スル船舶ノ範圍ヲ擴張致シマシタコト、特定船舶ニ對シ製造検査ヲ強制致シマシタコト、其備附クベキ船舶ノ特定ヲシ、又ハ特定シナイ船舶用機關検査ノ途ヲ開キマシタコト、特定事項ニ付キ船級協會ノ検査ヲ受ケマシテ、之ニ合格致シマシタ場合ニ於キマシテハ、其事項ニ付キマシテ管海官廳ノ検査ヲ受ケマシテ、之ニ合格シタルモノト看做スコト、致シマシタコト、ソレカラ船舶乗組員ガ船舶ノ安全狀態ニ關シマシテ、不服申立ヲ爲ス途ヲ開キマシタコト、外國トノ船舶検査ヲ相互ニ認メマスルコト

ニ關係致シマスル規定ヲ置キマシタコト等デアリマシテ、其他船舶ノ衝突豫防、危險物ノ運送、危險及氣象ノ通報等、船舶ノ安全ニ關シマシテ前述ノ條約ニ依ッテ要求セラレテ居ル所ノ事項ニ付デモ、是ガ成文法ノ根據ヲ本法ニ置クコト、致シマシタ次第デアリマス、大體以上申上ゲタヤウナ趣旨賛成ヲ賜ハラントヲ御願致ス次第デアリマス

次ニ船舶職員法中改正法律案ニ付キマシテ提案ノ理由ヲ申上ゲマス、現行船舶職員法中ニハ、處々ニ船舶検査法中ノ規定並ニ其用語ヲ引用致シテ居リマスルガ爲ニ、此度船舶検査法ヲ廢止シマシテ、新ニ船舶安全法ヲ制定スルコトニ致シマシタ結果、自然之ニ伴ウテ船舶職員法ヲ改正スル必要ヲ生ジタ次第デアリマス、本改正法律案中第一條、第九條ノ二及第一號表ノ改正ハ即チ是デアリマシテ、是ガ本案提出ノ主要ナル理由デアリマス、尙此機會ニ於キマシテ若干ノ輕微ナル改正ヲ加フルコトニ致シタ次第デアリマス、何卒此兩法律案ニ付テ、御

審議ノ上速ニ御賛成ヲ賜ハランコトヲ御願致ス次第デアリマス

○向井委員長 是ヨリ質問ニ入リマス、質問ハ通告ガゴザイマスカラ、其通告順ニ依ッテ發言ヲ許シマス

○村上委員 チョット質問以前ニ參考資料ヲ要求シタイト思ヒマス、ソレハ各府縣ニ於ケル五噸以上二十噸未満ノ發動機船ノ數、之ヲ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○向井委員長 ソレデハ質問ヲ許シマス——山本厚三君

○山本(厚)委員 船舶安全法ハ最モ時宜ニ適シタ法律デアリマス、又之ニ關係ヲシテ居ル當業者ノ間ニ十分御諮問等ガアツテ、其方面ニ於テモ十分研究ヲ盡サレテ居ルヤウデアリマスカラ、此法律ヲ拜見致シマスルト云フト、非難スベキ點ガ極メテ少イ、洵ニ結構ナ御提案ト考ヘマス、併シ唯一二參考ニ伺ッテ置キタイトガアリマスカラ、順次御尋ヲ致シマス、第一ニ十三條ノ規定デアリマスガ、是ハ此法律ノ名前ガ示シテ居ルヤウニ、船舶ノ安全ヲ期サウトスル、法律デアリマスカラ、若シ不安全ト云フコトガアレバ、何處マデモ之ニ制裁ヲ加ヘネバナラスト云フコトハ勿論デアリマス、船主ノ代表者デアアル船長等ガ不完全ナコトヲシ

テ、下級船員ヲ壓迫シテ不完全ナ儘デ航海スルト云フヤウナコトガアレバ、之ニ對抗シテ下級船員ヲ保護スルト云フ御趣意デアリマセウカラ、至極賛成デアリマスガ、唯、命令ノ定ムル所ニ依リ云々トナツテ居リマスガ、ドノ程度ノ御命令ヲ御出シニナル大體ノ御考デアルカ、此條文ニ依リマス、ト、二十人以上ノ者ハ半分、其他ノモノハ十人以上ノ請求ニ依ッテ検査ヲ爲スト云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ其人數ノ者ノ請求ニ依ッテ、先ヅ出帆スベキモノニ停船ヲ命ジテ、而シテ後ニ検査官ガ検査ヲ爲サルノダラウト思ヒマスガ故ニ、先ヅ停船ヲシナケレバナラス、サウシマスルト、今日海員ノ中ニハ陸上ノ労働者以上ニ險惡ナ思想ヲ持ッテ居ル分子モアルノデアリマス、而モ亦之ヲ指導スル所ノ組合モ相當ニ有力ニナツテ居リマスガ、若シサウ云フヤウナ良クナイ意味デ是ガ請求ヲサレタ場合ニ、船主若クハ船長或ハ荷主トシテハ非常ニ迷惑ヲ蒙ラナケレバナラス、併ナガラ一方ニ之ヲ拜見スルト、五百圓以下ノ罰金ニ處スト云フコトガアリマスカラ、虚偽ノ陳述ヲシタ場合ニハ制裁ガアリマスガ、併シ下級船員ナド、申スト甚ダ失禮デアルガ、サウ云フヤウナ者ガ亂暴ナコトヲスルト云フ場合ニハ、

ソナコトハ考ヘテ居リマセウカラ、非常ニ善意ノ船主等ガ迷惑ヲ蒙ルコトガアリハシナイカ、百噸ヤ二百噸ナラバ何デモアリマセウガ、外國航路ト云フヤウナモノデアルト非常ニ大キナ迷惑ヲ蒙リマスガ、之ニ對シテハドウ云フヤウナ程度ニ御考ニナツテ居リマセウカ、之ヲ一ツ承リタイ

○南國務大臣 只今ノ山本君ノ御質問ハ、洵ニ御尤ナ質問デアリマス、此規定ハ世界ノ主要ナル海運國ノ立法ニ倣ッテ居ルノデアリマス、今御話ノ通り、虚偽ノ陳述ヲシタ場合ニハ制裁ヲ加ヘ、且ツ命令デハ御心配ノヤウナコトノナイヤウニ十分ノ規定ヲ設ケタイ積リデ居リマス、尙ホソレ等ノ詳細ノコトニ付テハ、管船局長カラ申上ゲマス

○淺野政府委員 只今ノ御質問ニ對シマシテ御答ヲ申上ゲタイト思ヒマス、只今御話ガゴザイマシタヤウニ、此規定ハ各國ノ立法例ニモアリマスガ、我國ト致シマシテハ新シイ立法例デゴザイマスノデ、各國ノ立法例ナリ、時勢ノ進運ヲ考慮致シマシテ、玆ニ此規定ヲ設ケタ次第デアリマス、只今御心配ノ點ニ付キマシテ御意見ガアッタノデゴザイマスルガ、此規定ヲ運用致シマスル上ニ於キマシテハ、餘程慎重ニ致シマセ

スケレバ、勞資兩階級ノ反目ヲ誘發スルヤウナコトニ相成リ、又船内ノ統制ヲ紊ル虞モゴザイマスルノデ、此法律ノ施行ニ伴ヒマシテ、命令ヲ以チマシテソレ等ノ心配ノ點ヲ除クヤウニ、施行規則ヲ決メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、只今ノ所考ヘテ居リマス事項ト致シマシテ、緊急已ムヲ得ザル事項ヲ除キマシテハ、船舶ノ發航前ニ申出ヲ許サナイト云フ一點デゴザイマス、次ノ不服申立ヲ致スニ付キマシテハ、管海官廳宛ノ書面ヲ船長ニ提出致シマシテ、船長ハ之ニ意見書ヲ添付致シマシテ、最寄ノ管海官廳ニ提出セシムルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、此申立ヲ致シマシテモ、ソレニ伴ヒマシテ停船ヲスルト云フヤウナコトハ致サヌ積リデアリス

○山本(厚)委員 無論英、米、諸國等ノ法規ヲ御参照アツタコト、思ヒマスガ、只今御答辯ヲ得タノデ、サウ云フ風ニナレバ餘程緩和スル所ガアルト思ヒマスガ、第三番目ノ停船ヲサセルコトハシナイト御話ニナルノハ、船舶發航前ニ此申請ヲ許サヌト云フコトカラ御述ニナツタノデゴザイマセウガ、發航前ニ許サヌト云フコトニナルト、ドウ云フ時ニ之ヲスルト云フ御見込デアリマセウカ、ソレカラ外國ト申シマシテモ英、米、

スケレバ、勞資兩階級ノ反目ヲ誘發スルヤウナコトニ相成リ、又船内ノ統制ヲ紊ル虞モゴザイマスルノデ、此法律ノ施行ニ伴ヒマシテ、命令ヲ以チマシテソレ等ノ心配ノ點ヲ除クヤウニ、施行規則ヲ決メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、只今ノ所考ヘテ居リマス事項ト致シマシテ、緊急已ムヲ得ザル事項ヲ除キマシテハ、船舶ノ發航前ニ申出ヲ許サナイト云フ一點デゴザイマス、次ノ不服申立ヲ致スニ付キマシテハ、管海官廳宛ノ書面ヲ船長ニ提出致シマシテ、船長ハ之ニ意見書ヲ添付致シマシテ、最寄ノ管海官廳ニ提出セシムルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、此申立ヲ致シマシテモ、ソレニ伴ヒマシテ停船ヲスルト云フヤウナコトハ致サヌ積リデアリス

○山本(厚)委員 無論英、米、諸國等ノ法規ヲ御参照アツタコト、思ヒマスガ、只今御答辯ヲ得タノデ、サウ云フ風ニナレバ餘程緩和スル所ガアルト思ヒマスガ、第三番目ノ停船ヲサセルコトハシナイト御話ニナルノハ、船舶發航前ニ此申請ヲ許サヌト云フコトカラ御述ニナツタノデゴザイマセウガ、發航前ニ許サヌト云フコトニナルト、ドウ云フ時ニ之ヲスルト云フ御見込デアリマセウカ、ソレカラ外國ト申シマシテモ英、米、

スケレバ、勞資兩階級ノ反目ヲ誘發スルヤウナコトニ相成リ、又船内ノ統制ヲ紊ル虞モゴザイマスルノデ、此法律ノ施行ニ伴ヒマシテ、命令ヲ以チマシテソレ等ノ心配ノ點ヲ除クヤウニ、施行規則ヲ決メタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、只今ノ所考ヘテ居リマス事項ト致シマシテ、緊急已ムヲ得ザル事項ヲ除キマシテハ、船舶ノ發航前ニ申出ヲ許サナイト云フ一點デゴザイマス、次ノ不服申立ヲ致スニ付キマシテハ、管海官廳宛ノ書面ヲ船長ニ提出致シマシテ、船長ハ之ニ意見書ヲ添付致シマシテ、最寄ノ管海官廳ニ提出セシムルト云フコトニ致シタイト考ヘテ居リマス、此申立ヲ致シマシテモ、ソレニ伴ヒマシテ停船ヲスルト云フヤウナコトハ致サヌ積リデアリス

諸威等ヲ申スノデアリマセウガ、人數ハヤハリ外國モ同ジヤウナ人數ニナッテ居ルノデゴザイマセウカ、其邊ヲ管船局長ニ伺ヒマス

○淺野政府委員 第一ノ御質問デゴザイマスガ、緊急ナ場合ハ發航前ニ許ス場合ガアルト申シマシタノハ、譬ヘテ申シマスルト非常ニ貨物ヲ過載致シテ發航スルコトハ非常ナ危險ガアルト云フ場合デアリマス、第二ニ各國ノ立法令デゴザイマスガ、亞米利加ニ於キマシテハ過半數ト云フコトニナッテ居リマス、又佛蘭西ハ三名以上ノ船員ノ申立ガアレバ、管海官廳ニ申立ヲ許スコトニ相成ッテ居リマス、獨逸ハ三名以上ノ海員ト云フコトニナッテ居リマス、英吉利デゴザイマスガ、英吉利ハ全員ノ四分ノ一又ハ五人ト云フヤウナコトニ相成ッテ居リマス

○山本(厚)委員 一般ノ場合ニ發航前ニヤラスト云フコトニナルコトハ、是ハ餘程緩和サレルト思ヒマスカラ、至極結構デアリマス、人數ニ付テモ、私ハ外國ノ例ヲ聞カナイ内ハ二十名ト云フコトハ、二十人ノ半分或ハ十名ト云フコトハドウカト思ヒマシタガ、外國ノ例ヲ見マスルト、ソレ以下ノヤウデアリマスカラ、此程度ハ致シ方ガナ

イト思ヒマスガ、唯員數ノ中ニ、下級海員ノ思慮ノ淺イヤウナ者バカリデモ十名ニナリマスガ、之ニ高等海員ノ職員ヲ加ヘテ、何名ト云フヤウナコトニ制限スルト云フヤウナ御研究ハナカッタモノデアリマスカ一應伺ヒマス

○淺野政府委員 御答申上ゲマス、船長ヲ經由致シマシテ申立ヲ致シマススト云フコトニ致シタノハ、其點ヲ能ク考慮致シタノデゴザイマシテ、職員ヲ入レルト云フコトニ致シマシテモ、小サナ船カラ大キナ船マデモ規定ヲ適用スル譯ニハ行カナイ、職員ノ多ク居ル船モアルト思ヒマスシ、或ハ職員ガ居ッテモ一人シカ居ナイ船モアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、苟モ人命ノ安全ニ關係スルコトデアリマシタナラバ、職員ガ必ズ其中ニ入ラナケレバナラスト云フコトヲ規定スルコトハドウカト考ヘマシテ、船長ヲ經由スル、船長ハ能ク職員トモ相談致シマシテ、意見ヲ纏メテ、管海官廳ニ申出ルト云フヤウニ自然ナルダラウカト考ヘマス

○山本(厚)委員 是ハ採決ノ時ニ申スコトデアリマスガ、只今命令ノ主要ナル點ヲ伺ヒマシタノデ、大體結構デアリマスガ、外國ト日本トハ相當ニ事情モ違ヒマスカラ、

尙ホ一層御研究ノ上デ、爭議ノ起ラヌヤウ、萬全ヲ期スルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、是ハ私ノ希望デアリマス、ソレカラ次ニ此法律ニハ直接關係ハゴザイマセスガ、遞信省ニ御聽キスル機會モ他ニ餘リナイヤウデアリマスカラ、此際ニ伺ッテ置キタイト思ヒマスガ、先日本會議ノ時分ニ、ヤハリ之ニ關聯シテ質問ガアリ、大臣ノ答辯ガアッテ、遞信省ノ御方針ハ大體分ッテ居リマスガ、ソレヲモウ少シク詳シク伺ッテ見タイコトガアル、ソレハ外國船舶ノ輸入ニ關スルコトデアリマスガ、先日ノ問答ヲ拜聽シマススト、質問スルモノハ寧ロ下級船員等ニ同情ヲシテ、此ノ際船舶輸入ヲ禁ズルト云フヤウナコトハ、失業者ニ對シテ不利益デアルト云フ趣意ノ質問デアリ、大臣ノ御答辯ハ、今日船質改善ニ千萬圓ノ金ヲ使ッテ成績ノ好イ場合ニ、ソナナコトハ出來ナイ、即チ船ノ性質ヲ惡クスルヤウナコトハ出來ナイト云フ御答辯デアリマシタ、是デ政府ノ御意見ハ分ッタ譯デアリマスガ、就キマシテハ此問題ニ付テ政府ハドウ云フ御方針ヲ御採リニナッテ、何ガ施設ヲナサル規則等ヲ御設ケニナル御考デアルカ、其實行方法ニ付テ遞信當局ノ御意見ヲ伺ヒタイ

○南國務大臣 只今ノ御質問ハ、現在ノ狀

態ニ於テ外國船舶ノ輸入スルコトニ對シテ、ドウ云フ方針ヲ持ッテ居ルカト云フヤウナ、又此間ノ私ノ風見君ニ對スル答辯ニ於テ――現在ノ狀態ニ於テハ外國船舶ノ輸入ニ不便ナル所ノ規定ヲ撤廢スル意思ガナイカト云フ御質問ニ對シテ答ヘマシタ通り、現在ノ日本ノ海運界ノ狀態ニ於キマシテハ、敢テ外國ノ古船ヲ輸入スル必要ハナイト信ジテ居ル、又下級船員ノ救済ノ上ニ於テモ、外國ノ古船ヲ輸入スルト云フコトハ決シテ利益デナイ、現在ノ日本ノ海運事業ノ狀態ニ於テ此間御答申上ゲタ通り、繫船ガ二十二萬噸、又外國航路ニ於ケル船腹ノ狀況ニ顧ミマシテモ、毫モ古船ヲ輸入スル必要ハナイ、又船質改善ノ計畫ヲ致シマシタ時ニモ、海員團體ノ代表者ガ、熱心ニ此船質改善ノ計畫ニ賛成ヲ表シタ、ソレハ現在ノ古船ヲ整理シテ、サウシテ將來モ日本ノ海運界ニ於テ優秀ナル船舶ヲ造ルト云フコトハ、此海員ノ失業問題ヲ解決スル根本策デアルト云フ理由ニ於テ、海員團體ノ代表者ガ、滿腹ノ贊意ヲ表シタヤウナ次第デアリマス、其點ニ於キマシテモ、古船ヲ輸入スルコトハ少シモ失業ノ救済問題ニハナラナイ、現狀ノ船腹デ、十分日本ノ海運ノ事業ニ應ズル餘裕ガアル、且又此間申上ゲマシタ通りニ、

現在輸入セントスル古船ト云フモノハ、大戰中若クハ大戰後ニ歐洲デ拵ヘラレマシタ所ノ粗製濫造ノ悪イ船デアル、隨テ之ヲ各國競ウテ安く賣放サウトシテ居ルヤウナ状態デアリマス、日本ノ海運界ノ現状ニ於テハ、輸入スル必要ノナイ状態デアッテ、一部ノ人ノ利益ノ爲ニ、斯ノ如キ古船ヲ輸入スルト云フコトハ、日本海運界將來ノ爲ニ、又現状ニ於テモ宜シクナイ、若シサウ云フ風ナ傾向ガ次第ニ顯著ニナッテ來マスレバ、之ニ對シテ相當ノ處置ヲ執リタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山本(厚)委員 只今ノ御答辯ハ先日ノ答辯ト同ジデ、無論其趣旨ハ私モ同感デ、至極結構ニ思ヒマスガ、只今ノ御答辯ハ相當ノ處置ヲ執ルト云フ御話デアリマスガ、何カ輸入ヲ制限スル方法ヲ執ルトカ、大藏省ノ管轄デ關稅ヲ非常ニ上ゲルトカ、何カ具體的ノ方法ヲ御持チニナッテ居リマスカ、其御方針ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○南國務大臣 其事ニ付テ政究致シテ居ルヤウナ次第デアッテ、何レ必要ニ迫ラレマスレバ、適切ナ方法ヲ講ジタイト、斯ウ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○山本(厚)委員 詰リ何レ今申シタヤウナ一ツノ方法ヲ御執リニナルグラウト思ヒマ

スガ、未ダ御發表ノ時期デナイモノト見エマスガ、是ハ極メテ明カナ事實デアリマス、日本ニ輸入スルコトヲ制限サレルト云フコトニナレバ、其他ノ方法ヲ執ルコトニナル、其一ツトシテ大連置籍船ト云フヤウナコトデ、大連ニ輸入シテ其制裁ヲ免レルト云フコトヲ既ニ計畫シテ居ル者モ相當大キナモノガアル、無論御調ベニナッタコト、思ヒマスガ、ソレニ付テハ若シ之ヲ盛ンニヤルト云フコトニナレバ、何モナラスコトニナルト思ヒマスガ、無論遞信省ノ御直轄デハアリマセスガ、政府ノ方針トシテ一例ヲ擧ゲレバ、大連ノ置籍船ト云フコトニ對シテハ、相當ニ遞信省ノ方針ニ悖ラヌヤウニ、矢張此方面ニモ適當ナ方法ヲ御執リニナル御考デアリマセウカ、之ヲ伺ッテ置キタイ

○南國務大臣 是等ノ事ニ付テモ、目下政究致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、今ノ所ソレ以上申上ガ兼マス

○山本(厚)委員 無論此大連ノコトハ遞信省ノ管轄デハナイガ、是非是ハオヤリニナラナケレバナラスコトデアリマスカラ、適當ノ時期ト云フ御話デアリマスルガ成ベク速ニ御實行ニナラナケレバナラヌト思ヒマス、次ニ是ハ無論船舶ノ直接ノ關係デハアリマセスガ、此機會ニ一寸伺ッテ置キタイコ

トガアリマス、先般來遞信省ニ於テハ、多年ノ懸案デアアル通信事業特別會計法ト云フモノヲ御設ケニナルト云フ御計畫デアルト聞イテ居ルノデアリマスルガ、是ハ相當大キナ問題デアッテ、世間デハ相當大キク期待ヲ致シテ居ル、即チ是ノ實施ニ依ッテ、通信事業ノ非常ナ完備ヲ期待シテ居ルノデアリマスガ、世間ノ傳フル所ニ依レバ此議會ニ此提案ニナルト云フヤウナ噂デアッタノデアリマスルガ、最早半バヲ過ギテ居ル今日、マダ御提案ニナラスノデアリマスルガ、今日以後ニ御出シニナル御計畫デアリマスカ、如何デアリマスカ、之ヲ伺ヒマス

○南國務大臣 此法案ハ、實ハ大藏省ト密接ナ關係ガアッテ、提出スル時モ恐クハ兩大臣ノ名前デ出ルト思ヒマス、事柄ハ遞信省ガ最モ關係ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ協議ノ爲ニ多少手間取リマシテ——是ハ早く提出シテ皆様ノ御賛成ヲ願ヒタイト思ッテ居リマシタガ、最近ニ漸ク協議ガ調ヒマシテ、近イ内ニ提出スル運ビニ相成ルコト、信ジマス

○山本(厚)委員 是ハ中々大問題デアリ、大分浩漭ナ内容ノ大キイモノデアルト思ヒマスルガ、只今御提案ニナッテ果シテ、兩院ヲ通過スルカドウカ懸念ニ堪ヘナイノデア

リマス、非常ニ御提案ノ後レタコトハ遺憾ニ存ジマス、併シ成ベク速ニ御提案ニナルヤウニ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ之ニ關聯シタ小サナ問題デアリマスルガ、是亦非常ニ世間デ唱ヘラレテ居ッテ、真相ガ分ラヌノデアリマスルガ、郵便通信料ノ値上ト云フ問題ハ、之ニ關係ガアルカナイカハ別トシマシテ、現當局ニ於テ、速ニ御實行ニナル御考デアアルカドウカ、伺ッテ置キタイノデアリマス

○南國務大臣 其點ニ付キマシテハ、過日大藏大臣ガ豫算總會ニ於テ——慥カ内田君ノ質問ニ對シテカ、答辯セラレテ居ルヤウデゴザイマス、私等モ其通り考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、其答辯ニ依リマスレバ、他日財政上ノ建直ヲ要スル場合ニハ、其財源ノ一ツニ考ヘテ居ルト云ウヤウニ大藏大臣ハ答辯セラレテ居リマシタガ、サウ云フ風ナ場合ガアッテ、一般財政ノ建直ノ爲ニ必要デアルト云フヤウナ場合ニハ、考慮スベキ問題デアルト云フヤウニ考ヘテ居リマス

○佐々木委員 極ク簡單ナコトニ付テ伺ヒマス、第四條ニ規定セラレテアリマスル、無線電信ノ施設ヲ要スルト云フコトデアリマスルガ、此規定ニ依リマスルト、一、二、

三ニ互ッテ、今日マダ無線電信ノ施設シテナイモノガ凡ソドノ位アリマスルカ、若シ御分リデアリマシタナラバ之ヲ先ヅ聞キタイト思ヒマス

○淺野政府委員

只今ノ御質問ニ對シマシテ、簡單ニ數字ダケヲ申上ゲマス、一號ニ該當致シマスモノガ六艘デアリマス、二號ニ該當致シマスモノガ五艘デアリマス、三號ニ該當致シマスモノガ總噸數ガ百噸以上ノ漁船デゴザイマスルガ——無線電信ノ施設ヲ要スルモノガ十艘デゴザイマス

○佐々木委員

其次ニハ本法實施ノ曉ニ於キマシテ、船舶所有者ニ適用スベキ罰則ハ、原則トシテ其所有者、次ニ若シ法人デアル場合ニハ法人ノ理事、或ハ取締役、若クハ其社ヲ代表スル人、又共有ノ場合ニハ其共同船ヲ管理シテ居ル人、是等ノ者ガ罰則適用者ニナルヤウニナッテ居リマスルガ、更ニ賃借ノ場合ニハ、借りタ人ガ其所有者同様ニ處罰ヲ受ケルヤウデアリマスルガ、サウスルト借りマシタ時ニハ、全然借りタ人ガ所有者ニ代ッテ處罰ヲ受ケル、サウ云フ場合ニハ賃シタ本當ノ所有者ト云フモノハ、何モ關係ガナイト云フコトニナルノデアリマスルカ、ソレカラ若シ所有者ガ何等處罰ヲ受ケナイデ、借りタ者ダケガ所有者ニ代ッテ

處罰ヲ受ケルト云フヤウナ規定ヲ、ドウ云フ譯デ設ケラレマシタカ、其理由ヲ一寸御尋シテ見タイト思ヒマス

○淺野政府委員

只今ノ御質問ハ、二十六條ニ關スル御質問ダラウト思ヒマスガ、御承知ノ通り船舶共有ノ場合ニ於キマシテハ、船舶検査法ノ規定ヲ適用シテ居リマスル船舶ハ、船舶管理人ヲ置クト云フコトガ原則デゴザイマス、其際ハ所有者ヲ罰セナイデ、管理人ガ處罰サレルト云フコトニ相成ルノデアリマス、又船舶賃借ノ場合ニ於キマシテハ、船舶借入人ガ主トシテ船舶ノ運行ヲ管理致スノデゴザイマスカラ、船舶借入人ニ對シテ、所有者ト同様ナ規定ヲ適用スルコトニナルノデゴザイマス

○佐々木委員

サウ致シマスルト、借りタ者ガ處罰ヲ受ケテ、サウシテ所有者ハ何等罰セラレヌト云フコトニ相成ルノデスカ

○淺野政府委員

御意見ノ通りデアリマス、所有者ハ罰セナイコトニナリマス

○佐々木委員

本法ヲ一寸讀ンデ見マス、大概所有者ニソレノ施設ヲ命ズル、或ハ検査ヲ命ズルト云フコトニナッテ居ルヤウデアリマスルガ、所有者ガ其命ヲ受ケテ、サウシテ此法律ニ適當スルヤウニ一切ノ施設ヲシテ、ソレカラデナケレバ賃借ガ

出來ヌト思ヒマスガ、若シサウ云フ場合ニ此法律ニ觸レルト云フ場合ニハ、最初カラ其施設ヲシナカッタト云フヤウナコトニナリハシマイカト私ハ思フノデアリマス、サウスルト或ハ今御説明ノヤウニ、借りタ人ガ運行スル場合ニ本法ニ觸レルヤウナ、何カ命令ト申シマスカ、船長以下ニ無理ニ指圖ヲシテ、サウシテ此法律ニ觸レル場合モアリマセウガ、又サウデナク所有者自身ガ此法律ニ觸レルヤウナ時モアルデアラウト私ハ思フノデアリマスルガ、如何ナル場合デモ、借りテシマッタ最後、モウ一切ノ命令ニ背クヤウナコトガアリマシテモ、借りタ者ガ皆責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フヤウナコトニナルモノデアリマセウカ其點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○淺野政府委員

御答致シマス、二十六條ノ規定デアリマスガ、是ハ今申上ゲマシタ罰則ニ關スル事ダケデハアリマセヌデ、本法及本法ニ基ク命令ニ依リマシテ、船體ノ設備構造等ニ付キマシテ、色々ノ施設ヲシナケレバナラヌ義務ガアリマス、是等ノ義務ハ船舶ノ共有ノ場合ニハ、船舶管理人ガ全責任ヲ負ウテ、責任者ニナルノデアリマス、又船舶賃借ノ場合ニ於キマシテハ、船舶借入人ガ船主ニ代リマシテ全責任ヲ以テ其義

務ヲ負フコトニナルノデアリマス、船舶所有者ガ、管理人ナリ、借入人ニ對シマシテ色々ナ事ヲ命ズルト云フヤウナ場合ニハ自ラ別ノ問題ニナルカト考ヘルノデアリマシテ、此處罰關係ニ於キマシテハ、原則トシテ處罰シナイノデアリマスケレドモ、若シ刑法等ノ關係ニ依リマシテ、刑ニ觸レルト認メラレルヤウナ場合ニ於キマシテハ、所有者モ其關係ニ於テ處罰サレルコトニナルヤウニモ考ヘルノデアリマス

○佐々木委員

私ハモウ宜シウゴザイマス

○向井委員長

次ハ荒川君

○荒川委員

私ハマダ此法案ヲ一讀シナイノデアリマスガ、第一一寸御質問致シマスノハ、此船舶安全法ト云フヤウナ名前ハドウ云フ意味デ附ケラレタモノデアルカ、航海ノ安全、人命ノ安全ヲ保持スルコトニ付テハ第一條ニ規定シテアル、航海ノ安全ノ目的ノ爲ニハ、船舶ガ堅固デアリ、設備モ十分ニシナクテハナラヌノハ固ヨリデアリマスケレドモ、ソレナラバ、船舶法トカリマフヤウナ名稱デアッタ適當ナヤウニ思フノデアリマスガ、此安全ト云フコトハ、船舶ノ安全ニアラズシテ、航海並ニ人命ノ安全ヲ保持シヨウト云フ意味カラデアルカ、一寸素人ノ眼デ此題目ヲ見マス、餘リ適

當デハナイカノヤウニ、常識ヲ以テハ感ゼラレルノデアリマスガ、ソレヲ定メラレタ次第竝ニソレニ關聯スル此法律ノ主ナル箇條ニ付テ御説明ヲ願ヒマス、其答辯ヲ得テ、續イデ質問致シマス

○淺野政府委員 船舶安全法ト命名ヲ致シ主ナル理由ハ、先刻大臣カラ御説明致シマシタ通り、二ツノ國際條約ニ基クノデアリマス、一ツハ海上ニ於ケル生命安全ニ關スル條約、他ノ條約ハ國際滿載吃水線條約デアリマス、是等ハ何レモ航海ノ安全、船内ニ於ケル人命ノ安全ニ關スル規定デアリマシテ、是等ノ關係規定ハ、日本ノ現行法ニ於キマシテハ船舶検査法、船舶滿載吃水線法、無線電信施設法、是等ノ法律ニソレ々分ケマシテ規定ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、今回此條約ヲ批准スル準備ト致シマシテ、國內法ニ於テ是等ノ條項、安全條約及ビ吃水線條約ニ於ケル條項ヲ取入レマシテ、且ツ船舶検査法ノ規定ノ現在ノ海運界ノ實情ニ副ハナイ點モ改正致シマシテ船舶安全法ト云フ風ニ命名致シタ次第デアリマス

○荒川委員 船舶安全法ト定メラレタ説明ハ分リマシタガ、併シ國際條約モ、海上ニ於ケル人命ノ安全、船舶ノ安全デヤナイ、ソ

レカラ船ノ設備ハ航海ノ安全ヲ保持スル、總テガ國際條約ノ文言カラ言フテモ、船舶ノ安全ト云ヘバ一寸意味ガ違ウテ來マヌヤウニ私ハ思フノデアリマスカラ、普通疑ガ起キヤウト思ヒマス、併シ其處ニ深イ意味ハナクテ、國際條約ナドノ關係カラ、或ハ検査法トシテモ行カズ、造船法トシテモ行カズト云フヤウナ所カラ、安全法トセラレタノデアルヤウニ承リマスガ、一體言ヘバ船舶ノ總テニ關スルコト、無線電信ノ設備ナリ、滿載吃水ノコトナリ、或ハ海員ノコトナリニ關係スルナラバ、船舶法ガ私ハ宜シイヤウニ感ジタカラ御尋シタノデアリマス、併シ答辯ノ要旨ハ分リマシタカラ、ソレ以上ニ御追究ハ致シマセヌ、隨テ船舶ノ安全ト言ヘバ、我ガ日本ノ造船業ノ進歩ハ如何デアルカ、之ニ關聯シテ御尋致シタイ、先ヅ從來ノ難船ハドウ云フヤウナ故障ガ一番多イノカ、其故障ノ多イノニ向ッテ、是マデドウ云フヤウナ注意ガ拂ハレテ、サウシテ今マデ斯ウ云フ航海上ノ故障ガ多カッタガ、之ニハ斯ウ云フ注意ヲシタト云フヤウナ、所謂安全ナル造船術ノ進歩ノ狀況、竝ニ造船機關ノ中デ、日本デ製造スルヨリモ外國カラ或ル部分品ヲ取入レル方ガ安クテ便利デアルト云フヤウナモノガアリマセウ、ソ

レ等ハドンナモノデアルカ、又外國カラ日本ニ向ッテ造船ヲ依頼セラレタルモノハアルカ、ソレハドウ云フ種類ノモノデアルカ、先ヅ此船舶ノ安全ハ、造船術ノ進歩ガ根本ヲ爲スノデアリマスカラ、之ニ對スル大體ノ御説明ヲ承リタイ、若シ數字ナドガ必要デ、直ニ御説明ガ出來ネバ、次ノ會ニデモ宜シウゴザイマス、ソレヲ承ッテカラ次ノ質問ニ移リマス

○淺野政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、我ガ船舶ニ對シマシテ、海岸ノ多イコトニ顧ミマシテ、監督法規ニ付テ何カ考ヘテ居ル點ガアルカドウカト云フ御趣旨ガラウト思ヒマス、日本ノ船舶ノ遭難率ト申シマス、非常ニ世界デモ遭難ノ多イ國デゴザイマス、年々多數ノ人命ヲ喪失シツ、アルノデアリマス、是ハ人道上カラ申シマシテモ、亦國家經濟上カラ申シマシテモ、洵ニ遺憾ニ存ズルノデゴザイマス、海難ノ増加ト云フコトハ、海上保險率モ高率ニナルト云フコトヲ導クノデゴザイマス、是等ニ付キマシテハ絶エズ考慮ヲ致シテ居ル次第デゴザイマスガ、昭和七年三月デゴザイマスガ、逕信省ニ於テ關係官民ノ權威者ヲ網羅致シマシテ、臨時海難調査會ト云フモノヲ組織致シマシテ、其決議ニ

依リマシテ海難ノ防止ニ對スル種々ノ對策ヲ講ジタノデゴザイマス、目下之ニ關スル豫算ハゴザイマセヌケレドモ、民間關係者ノ寄附金ヲ以チマシテ、海難防止會ト云フモノヲ設立致シマシテ、是等ノ對策ニ付キマシテ攻究致シテ居ル次第デゴザイマス、海難ノ原因ナリヲ能ク調べマシテ、ソレニ依ッテ其防止ニ對スル事項ヲ攻究致スト云フコトヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、我國ノ造船事業デゴザイマスガ、今日ハ非常ニ進歩致シマシテ、其設備カラ申シマシテモ、外國ニモ劣ラヌヤウナ設備ヲ有ッテ居リマス、又優良ナル船舶モ出來ルヤウナコトニナッテ居ルノデアリマス、外國カラ造船ノ注文ヲ受ケタヤウナ例ガゴザイマセヌケレドモ、最近浦賀船渠ニ於キマシテ、露西亞カラ注文ヲ受ケタヤウナコトガアルノデアリマス

○荒川委員 造船機關ノ中デ、日本ノ製品ト、外國ノ製品トノ相違ト云ヒマセウカ、外國ノ製品ヲ買ウタ方ガ安クテ便利ダト云フヤウナモノデソレ等ノモノヲ買フトスレバドウ云フモノカ、日本ノ部分品デ外國ノモノヲ買フヨリ安ク付イテ良イト云フヤウナモノ、サウ云フ造船術ノ進歩ニ關スルコトヲ御尋致シタノデアリマスルガ、其御答

辯ハナイヤウデアリマス、ソレカラ海難ノ多イノハ四面環海ノ國デ、サウシテ一方ニハ日本海方面ノ潮流ナリノ關係、天候ノ關係ソレカラ海岸線ノ關係ソレ等ニ付テノ御取調ハ出來テ居ルモノガラウト思ヒマスガ、是ハ最モ管船上重大ナル問題ト思フノデアリマス、ソレ等ノ御取調モ承リタイシ、尙ホ日本ニ海難ガ多イノハ、近海航路ニ多イノカ、遠洋航路ニ多イノカ、或ハ總テニ多イノカ、ソレ等ノコトハ日本ノ船舶政治ノ上ニ極メテ大切ナルコトデアリマスカラ、ソレ等ノコトモ併セテ承リタイ

○淺野政府委員 日本ノ海難ノ多イ原因ト致シマシテハ、御承知ノ通り日本ハ非常ニ海岸線ノ長イ國デゴザイマス、隨ヒマシテマダ航路標識其他燈臺ノ設備ナドニ付キマシテモ、十分至ラス點ノアルコトモ一ツノ原因カト思フノデアリマス、又御承知ノ通り日本ハ氣候ガ非常ニ複雑ナ國デゴザイマシテ、暴風雨ガ非常ニ多イノデアリマス、是等ノコトモ海難ノ原因デハナカラウカト思ヒマス、細カイ數字ノ統計ニ付キマシテハ色々調ベタモノモゴザイマスルガ、後デ御參考ニ差上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○荒川委員 只今ノ説明ニ依ルト近海航路

ニ故障ガ多イ、裏カラ承レバサウ云フ御説明ニナルト承知致シマス、然ラバ海難船ガ多イトカ、日本ハ氣候ガ不順デ變化ガ激シイトカ云フコトハ、即チ遠洋ニハ關係ノナイコトデアルカラ、近海航路ノ海難ノ多少ト云フコトニナルヤウデアリマス、若シ表ヲ御示シ下サルナラバ遠海ト近海トヲ分ケテ御示シヲ願ヒタイ

之ニ關聯シテ御尋スルノハ海上保險デアリマス、海上保險ニ付テハ遞信省ハドウ云フ之ニ關與ヲシテ居ラレマスカ、ソレカラ保險料竝ニ解保險料、ソレ等ノコトニ付テノ或ハ料金ヲ定メル上ニ於テ、御干涉ニナル所ガアルノカドウカ、外國ニ較ベテドンナニ高イノデアルカ、日本ハ環海ノ國デアリマシテ、海ヲ以テ生命トシナケレバナラス、此方面ニ伸展ヲ圖ルコトガ日本ノ國策トシテ大事ト思フノデアリマス、ソレ等ニ付テ是ハ必要デアアルノミナラズ、ソレニ關聯シテ重大ナ問題ハ多アリト思フノデアリマス、ソレ等ニ付テノ御説明ヲ願ヒマス

○牧野政府委員 只今ノ御質問ニ對シテ御答申上ゲマス、御承知ノ如ク海上保險ノ管轄ハ遞信省デナクテ、商工省デ致シテ居リマス、但シ御質問ノ趣旨ニ付キマシテ、遠洋航海ニ關スルモノデ、大體日本ノ海上保

險ノ勢力範圍ニ屬スルモノハ大變少ウゴザイマシテ、御承知ノ通り近來ハ段々其勢力ヲ増シテ居リマス、近海航路ニ關スルモノハ、主トシテ日本ノ海上保險會社デヤッテ居リマスガ、世界的ニ率ガ高イト云フヤウナコトモゴザイマセヌ、近來ノ成績ハ洵ニ良好ニナッテ居リマス、只今商工省方面ニ於キマシテモ、殊ニ我國ノ地勢上カラ考ヘマシテ、海上保險ノ方面ニ對テハ特別ノ注意ヲ拂ッテ居リマシテ、御懸念ノ點ニ付キマシテモ、相當詳細ナル調査ヲ致シテ居リマス、別ノ機會ニ於キマシテ商工省ヨリ關係ノ材料ヲ受ケマシテ、御目ニ掛ケタイト思ヒマス、左様御承知願ヒマス

尙ホ先程御尋ノアリマシタ安全法ノ名稱ノ件デアリマスガ、是モ十分御承知ノ通り日本ニハ古ク船舶法ト云フ別ノ法律ガアリマシテ、ソレト相並ンデ今般ハ船舶安全法ト云フモノヲ制定シテ居ルノデアリマス、併セテ御諒承ヲ戴キタイト思ヒマス

○荒川委員 私ハ此箇條ガ、船舶法ヘマルデ入ルモノト考ヘテ、船舶法デ宜カラウト思ッタノデアリマスガ、只今ノ御説明ハソレデ宜シイ、私ハ一向船舶ノコトニハ不案内デアリマスガ、船長ハ外國航路ナドニハ外國人ヲ置カナケレバ、外國船客ハ安心セナ

カッタ、ソレガ近來日本ノ船長ヲ用ヒテヤラレルヤウニ承ッテ居リマスガ、尙ホ現在デモ日本ノ船舶ニ外國人ノ船長ヲ御置キニナッテ居ルカ、船長、水先案内、ソレカラ船舶員ノ重要ナル者ニ付テノ今日ノ事實ヲ承リタイト思ヒマス

○淺野政府委員 只今ノ御話ノ通りニ、昔ハ外國人デ歐羅巴航路ノ船長ナドヲ致シテ居ッタ例ガゴザイマシタケレドモ、現在ニ於キマシテハ外國人デ免狀ヲ持ッテ居ル者ハゴザイマスガ、船長トシテハ全部日本人デゴザイマス

○荒川委員 乘客ノ待遇ノコトデアリマス、私ハ昭和四年ニ海外ニ往キニハ一等船客デ參リマシタガ、折二三等ニ行ッテ見ルト、ドウモ三等船客ノ待遇ガ餘ニ酷イヤウニ私ハ感ジタノデアリマス、日本ガ世界ヲ家トシテ海外ニ發展スルニハ、船客ノ取扱方ヲ改善スルコトハ極メテ大切デアアル、殊ニ日本人デ海外ニ移住、出稼ヲスル者ノ爲ニモ亦其途ヲ講ジナケレバナラス、私ハ唯ホンノ僅ノ一部分ヲ見デ感ジタノデアリマスガ、外國旅行車二等、殊ニ三等船客ノ待遇、ソレ等ノ實際、其中ニ餘リ費用モ要セズシテ改善ノ餘地ハドノ點ニアルカラ實地研究シタイト思ヒマシテ、歸ル時分ニハ三

等船客ニナッテ歸リタイと思フテ、其事ヲ交
渉シタノデアリマス、然ルニ友人ト船會社
トノ話合カ、承知シタト言ッテ置キナガラ到
頭ソレヲ承知シナイ、三等ニ乗ッテ歸ルコト
ハ隨分是ハ苦シイ話ダケレドモ、奮發シテ
ト思ッテ決心シテ三等船客ニナルコトヲ、船
會社ニ要求シテ置イタノデアリマスガ、友
人カラ言ハレテカソレヲ許サナカッタ、隨テ
實際ハ知リマセヌガ、ソレ等ノ事實カラ考
ヘテモ尙ホ此間ニハ私ハ大ニ改善ノ餘地ガ
アルト思フ、内地ノ汽車ナドニ於テモ尙ホ
此三等客ノ扱方ニ於テ、私ハ改善ノ餘地ア
リト思フノデアリマスガ、併シ汽車ノコト
ハ大分一般ニ改善ハセラレテ居リマス、所
ガ船ハドウモ人ノ眼ヤ口ガ届キ難イ所デ、
船員ノ一體ノ心理状態ハ隔世的ノヤウニ感
ゼラレル、此大事ナ部面ガ殆ド私ハ研究セ
ラレテナイ位ニ感ジタノデアリマスガ、是
ハ我が日本ノ發展上、交通事業ノ進歩ノ上
ニハ最も重大ナコト、思フノデアリマスカ
ラ、ソレ等ニ對スル今日マデノ實際ノ三等
船客待遇ノ狀況、ソレ等ヲ改善セラル、コ
トニ付テ採ラレタルコトガアリヤ否ヤ、又
船舶ノ造船ノ上ニ如何ナル考慮ヲ拂ハレテ
居ルカ、ソレ等ヲ承リタイ

○淺野政府委員 三等客ニ付キマシテノ待

遇ガ惡イト云フコトニ付キマシテ、何等カ
改善スル手段ヲ探ッテ居ルカドウカト云フ
御質問ノヤウニ承リマシタガ、從來ハ總テ
ノ旅客ニ對シマシテハ、ソレノ大體船ノ
容積ヲ算出致シマシテ、其容積ニ適合スル
ダケノ人員ヲ、旅客ノ定員トシテ認メテ居
ル譯デアリマス、其他三等客五十人以上ヲ
近海航路以外ノ港ニ運ブ場合ニ於キマシテ
ハ特ニ嚴重ナル食糧等ニ互ッテノ検査ヲ致
スコトニ致シテ居ル次第デアリマス、尙ホ
此船舶安全法案ガ實施セラレマスレバ、特
ニ旅客者ニ對シマシテハ、ソレ等ノ點デ一
層嚴重ニ改善サル、點ガアルダラウト思ヒ
マス

○荒川委員 御方針ヲ承ッテ私喜ブノデア
リマス、船ハドウシテモ世間ノ眼カラ、耳
カラ遠ザカリ勝チデアリマスカラ、此點ニ
ハ御役所ニ於テ十分御注意ヲ拂ッテ貰ヒタ
イ、アノ長イ航海ニハ隨分苦難ノアルコト
デアリ、海外發展ノ進歩ノ上ニ多大ノ影響
ヲ來スコト、思ヒマス、此點一段ノ御注意
ヲ此際希望シテ置キマス
ソレカラ、次ハ鐵道トノ關係デスガ、鐵
道省ニ關シテ居ル船舶ニ對シテハ、遞信省
ハドウ云フ干涉ヲ有ッテ居ラル、デアリマ
スカ、例ヘバ釜山下關間、是モ鐵道省ノ管

轄、ソレカラ北海道ニ渡ル所、サウ云フヤ
ウナ所ハ更ニ遞信省ニハ取締ナリ、賃金ナ
リト云フヤウナコトニ對シテ御干涉ハナイ
ノデアリマスガ、昨日モ青森函館連絡特定
賃金撤廢期成會ノ會長カラ印刷物ガ來マシ
テ、是ハ他ノ諸君ニモ來タコト、思ヒマス
ガ、此文面ニ依リマスト賃金ヲ半減スルヤ
ウニト云フコトガ書イテアリマス、此日本
ノ土地ヲ接續スル船舶ハ、日本ノ内地デ言
ヘバ道路デアアル、道路ハ皆只デ交通ガ出來
ネバナラス、ソレガ土地ナイ、水デアアルガ爲
ニ、高イ賃金ヲ拂ッテ行カナケレバナラス
云フコトハ、水ノ道ヲ渡ッテ交通セネバナラ
ヌ者ノ爲ニハ多大ノ不便ヲ與ヘテ居ル、道
路交通ノ上カラハ之ニ對シテハ特別ノ注意
ガナクテハナラヌト思ヒマス、ソレ等ニ對
シテハ日本ノ土地ヲ接續スル、日本ノ公道
デアアル東海道デモ、東山道デモ、大手ヲ振ッ
テ只デ通レルノデアアルガ——只デハ行キマ
スマイガ、ソレニ準ジタル方法ガアルベキ
モノト思フ、ソレハ船舶ヲ管掌セラル、遞
信省ハ、相當ノ御干涉ヲ有タルベキモノト
思フノデアリマスガ、ソレ等ハ鐵道省ノミ
ノコトデアッテ遞信省ニハ御關係ハナイノ
デアリマセウカ、承リタイと思ヒマス

○淺野政府委員 遞信省トシテ鐵道省所屬

船舶ニ對シマシテ、ドウ云フ干涉ヲ有ッテ
居ルカト云フ御質問ト思ヒマスガ、船舶安
全法ニ關シマシテハ、一般ノ民間ノ船舶モ、
鐵道省ノ船舶モ一樣ニ取締ル次第デゴザイ
マス、運賃ノ點ニ關シマシテハ、遞信省ト
致シマシテ、今日デモ全般的ニ一切ノ船舶
ニ對シマシテ、運賃ノ認可ト云フコトハ致
シテ居ラナイ、唯命令航路トシテ補助金
ヲ支給シテ居リマス船舶ニ對シマシテハ、
運賃ノ認可ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリ
マス、鐵道省ノ船舶ニ對シテハ、鐵道營業法
カナンカニ其取締ガアルノデアリマス、其
改廢其他ニ付キマシテハ、遞信省ト鐵道省
ト協議ノ上行ッテ居リマス、運賃ノ認可ニ付
キマシテハ、今申上ゲル鐵道省ノ船舶ニ對
シマシテハ、何等遞信省トシテハ干涉シテ
居ラナイノデアリマス

○荒川委員 命令航路ニ要スル補助金、造
船獎勵金其他サウ云フ方面ニ政府ガ補助
シ、獎勵セラレタル金額ヲ、區別シテ御報告
ヲ願ヒタイ——ソレデハソレハ書面デ御示
シヲ願フコトニ致シマシテ、前ニ申上ゲマ
スルヤウニ、私ハマダ此法案ヲ讀ンデ居リ
マセヌガ、一寸讀ンダ文面ノ中ニハ、斯ウ云
フ文例ガアルカ知リマセヌガ、例ヘバ第四
條デ御尋致シマス、四條ノ一ニ「遠洋區域

條デ御尋致シマス、四條ノ一ニ「遠洋區域

又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千六百噸以上ノ船舶トアリマスガ、遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スルト字ヲ配シテアリマスガ、ソレガナイトドウ違ヒマスカ、總噸數千六百噸以上ノ船舶トアッタノデハ此意味ガ分リマセヌ、ソレカラ第二ニデモ「十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶」トアル、前ノ第一ノ文例カラ言ヘバ、前ノ一ニ「總噸數千六百噸以上ノ船舶トアルカラ、其次ニモ旅客定員十二人以上ヲ有スル船舶トアリサヘスレバ、素人分リガ直グスルノデアリマスガ、サウ云フコトガ、一寸進歩シタ文字ノ使ヒ方カモ知レマセヌガ、サウ云フ文句ガ多イヤウニ思フ、今例ヲ舉ゲタコトニ付テノ御説明ヲ伺ヒマス

○淺野政府委員 遠洋區域又ハ近海區域ト申シマスノハ、船舶ノ航行シ得ル範圍ヲ示シタモノデゴザイマシテ、遠洋區域ト申シマスノハ諸外國ニ通ズル區域デアリマス、近海區域ト申シマスノハ、大體ニ於キマシテ、北ハ「ベールリング」海、「オホーック」海、南ノ方ハ比律賓群島マデノ區域デアリマス、ソレ以下ノ區域ニ付キマシテハ、強制シナイト云フ趣旨ガ現レル譯デアリマス

○荒川委員 千六百噸以上ノ船デ、此二ツノ目的以外ニ使フ船ガ相當ニアルノデセウ

カ

○淺野政府委員 近海區域ノ次ニハ、沿海區域ト平水區域ト云フノガアリマスガ、沿海區域ヲ航行スル千六百噸以上ノ船舶ハ在リ得ルト考ヘテ居リマス、又先刻御質問ノ「十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶」ト申シマスノハ、條約ノ文句ヲ其儘取ッテ參リマシタノデ、十三人ノ旅客定員ヲ有スル船舶ハ、旅客船トシテ特別ニ無線電信ノ施設ヲ要スル、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、今申上ゲルヤウナ旅客船ハ、千六百噸ニ達シマセヌデモ、無線電信ノ施設ヲ要スルト云フコトニナルノデアリマス

○荒川委員 私ノ質問ハ今日ハ此程度ニシテ置キマス

○山村委員 本案ハ至極結構ナ法律デアリマシテ、之ニ依リマシテ船舶ノ安全ヲ期スル上ニ於テ一段ノ進歩ヲ認メルト思ッテ、私ハ賛成ヲ表スルモノデアリマス、併シ此法律ニ依リマシテ、船舶ノ構造若クハ設備カラ生ジマス危險ニ付テハ申ス迄モナイノデアリマスガ、船舶業者ガ無暴極端ナル競争ヲスルコトカラ生ジマス危險ノ防止ニ付テハ政府ハドウ云フデ御考アルカト云フコトヲ伺ヒタイ、勿論遠洋航路、近海航路ハ外國船ノ關係モアリマスカラ、色々支障モア

ルダラウト思ヒマスガ、少クトモ沿海航路、平水航路ニ於キマシテノ旅客船ニ對シマシテ、政府ハ統制ヲスル御考ガアルカドウカ、少クトモ此區間ノ沿海航路、平水航路ニ於テハ、統制トマデ行キマセヌデモ、其區間ニ於テ旅客船ニ似タルモノニ對シテハ、之ヲ許可スルト云フコトノ御考ガアリマセウカ、斯ウ云フコトヲ御伺シタイと思フ、現在ハ全ク検査ニ合格サヘ致シマスレバ、又検査ニ認メラレタ區間ニ於テハ、船主ハ隨意ニ隨所デ航海ヲ開始スルコトガ出來ルノデアリマス、隨ヒマシテ無暴極端ナル競争ガ行ハレテ居リマス、ソレガ爲ニ經濟上ニ於キマシテモ、亦船舶ノ危險防止ノ上ニ於キマシテモ、其弊ニ堪ヘヌモノガアルノデアリマス、現在ノ一例ヲ申シマスレバ、一昨年來宇和島、別府間ニ於キマシテ大競争ガアリマス、此間ガ八十哩デアリマスガ、之ニ對シマシテノ運賃ガ二十錢若クハ三十錢、而モ二回ノ賄ヲ附シテヤッテ居ル、サウシテ時刻ノ上ニ於テモ激烈ナ競争ヲ致シマシテ、危險此上モナイヤウナ狀態デアアル、而モ是等ガ眞面目ニ船舶ヲ營業スルト云フコトノ考カラスルノナラ宜シウゴザイマスガ、他人ガ多大ノ犧牲ヲ拂ウテ新航路ヲ開拓致シマス、ソレカラ多額ノ費用ヲ出シテ

設備ノ改善ヲシ、「サービス」ヲ宜クシテ、漸ク採算ガ取レルヤウニナッテ來ルト、其處ヘ入込ンデ來テ、無暴ナ競争ヲシテ、從來ノ航海業者ヲ非常ニ苦シメル、其結果航海業者カラ幾何カノ金ヲ取ッテ、又逃出スト云フヤウナコトヲヤッテ居ルト云フ事例ガアルノデアリマス、甚ダ其弊ニ堪ヘヌノデアリマス、其外斯ウ云フ無暴ナル競争ヲ致シマスガ爲ニハ、當業者ノ間ニ於テ非常ナ無理ガ生ジマス、無理ガ生ジマシタ結果ハ、自然船舶ノ金額ノ如キモ、或ハ運賃ニ於テモ斯ノ如キ、無暴ナ競争ヲスルガ爲ニハ、自然船員ニ無理ガ出來ル、船員ノ休養時間ガ十分取レヌ、若クハ航海ノ到底不可能ト思ハレルマデ無理ナ航海ヲ續ケル、斯ウ云フヤウナ自然ニ無理ガ生ジル、現在斯ウ云フ事例ガアル、一月ノ二十三日ニ宇和島ヲ發シテ宿毛ニ向ヒマシタ第三大和丸、噸數四十五噸ノ船ガ、全員三十六名ヲ乗セテ居リマシタ、是ガ二十四日ノ午前三時半、南宇和郡ノ由良半島ノ突端ニ於テ激浪ノ爲ニ沈没致シマシテ、僅ニ一名生存シタダケデ、他ノ者ハ全部船ト共ニ行方不明デアアル、サウシテ今日マデ船モ死體モ引上ゲルコトノ出來ナイ悲惨ナ狀態ニナッテ居ル、何故斯ウ云フヤウナコトニナルカト云フト、第三大

和丸ハ元深浦、宿毛間ノ極メテ近距離ヲ航海シテ居ッタモノデアル、其處ヘ八幡濱ノ繁久丸ガ入ッテ來テ競争ヲ始メタ、此狹イ區間ニ於テ競争ヲ始メル、他カラ競争ガ始マレバ、狹イ區間デハ營業ガ成立タヌカラ、隨テ航路ヲ延バシテ、又其船ト競争スルノモ已ムヲ得ナイコトニナリマシタカラ、字和島ノ方ニ遠航シタ、大體四十五噸ノ船デ、太平洋ヲ眞受ケニシテ居ル此由良半島ヲ航海スルコトハ、元來ガ無理デアルケレドモ、營業上苦シサノ餘リ、已ムヲ得ズ斯ウ云フヤウナ航海ヲスルコトニナッテ、斯ル悲惨ナル運命ニ陥タノデアリマス、斯ルガ故ニ私ハ此法律ニ依リマシテ、假令船舶其モノ、構造ナリ設備ナリニ於テ改造サレマシテモ、斯ノ如キ危險防止ノ方法ガ講ゼラレルニ非ザレバ、到底此船舶安全ノ目的ヲ達スルコトガ出來ヌト思フ、此點ニ付キマシテ政府ハ沿海航路若クハ平水航路ニ對シテ統制ヲスルカ、若クハ之ヲ許可制度ニスルトカ云フ所ノ御考ハナイカドウカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタイノデアリマス、尤モ縣ニ依リマシテハ、取締規則ノ實施サレテ居ル處モアリマスガ、愛媛縣邊リハアリマセヌ、私ハ數年前カラ屢々縣廳ノ當局者ニ向ッテ、取締規則ノ制定ヲ迫ッタノデアルガ、未ダ取締規

則ノ制定ヲ見ナイ間ニ、不幸ニシテ斯ノ如キコトガ起ッタノデアリマス、私ハ斯ノ如キ法律ヲ制定セラレルト同時ニ、此船舶業者ノ不正競争ニ對シテハ、十分ナル御考慮ヲ拂ハレル必要ガアリハセヌカ、之ニ對シマスル政府ノ御意見ヲ伺ヒタイと思フ

○牧野政府委員 只今ノ御質問ハ至極御尤ナ御質問ト存ジマス、當局者トシテモ十分注意ヲ拂ハナケレバナラヌト存ジマス、船舶安全法ハ、船舶其モノ、ミニ關スルモノデアッテハナラヌ、御説ノ通りニ航路、殊ニ無禁ナル競争ニ依ル、常軌ヲ逸シタ船主、船長ノ行動ニ對シテ、十分ナ注意ヲスル程度ニマデ至ラナケレバナラヌト信ジマス、殊ニ只今御説明ヲ受ケマシタガ如キ事例ガ、近來具體的ニ頻々トシテ起ルコトニ鑑ミマシテ、特ニ十分ノ注意ヲ致シタイト存ジマス、唯此點ニ對シマシテハ、御承知ノ如ク是等ノ事項ハ、地方廳ノ監督事項ニナッテ居リマシテ、直接逕信省ノ事務ニナッテ居リマセヌ關係上、只今之ニ對スル具體的ノ案ヲ持ナイノデアリマスルガ、此法案ニ於キマシテモ是等ノ事業ハ地方廳ト連絡ヲ取リマシテ、遺憾ナキヲ期シタイト存ジマス、唯從來兎角逕信省ト致シマシテハ、是等ノ事項ニ關シ直接ノ監督事務ヲ持ッテ居

ナイ爲ニ、責任ヲ感ズル點ガ或ハ薄カタカモ知レナイト存ジマシテ、ソレ等ノ遺憾ナキヲ期シ、將來十分考慮ヲ爲シタイト存ジマス

○山村委員 此取締ハ地方官ヘ委シテアルト云フ御話デゴザイマスルガ、私ハ之ヲ地方官ヘ御委セニナッテ置クノガ抑、間違ヂヤナイカト思フ、現在各縣ニ取締規則ガアリマスルガ、縣々ニ依テ取締ノ規定ガ區々ニナッテ居ル爲メ、當業者ガ甚ダ迷惑ヲスル、縣ト縣トノ間ヲ航海スルノニ、他ノ縣ニ行キマシテ斯ウ云フ規定、此縣ニ行キマシテ斯ウ云フ規定ト云フノデ、甚ダ實際ニ於テ非常ニ迷惑ヲスルノデアリマス、是等ヲ寧ロ統一ラシテ、政府デ相當ノ取締方法ヲ講ゼラレルコトガ至當デハナイカト思フ、現ニ自動車營業ニ對シマシテハ全國ニ互リマシテ、鐵道省ガ之ヲ統制ラシテヤッテ居リマス、又十分ニ其統制ノ實ガ擧ッテ居ルノデアル、全國ノ自動車營業ガ鐵道省ニ於テ統制ガ出來テ居ルノニ、船舶ニ限ッテ統制ガ出來ヌト云フ道理ハナイト思フノデアリマスカラ、私ハ出來得ルナラバ、是ハ政府自ラ監督シ、取締ヲスルト云フ方法ニ御考下サランコトヲ希望致シマス

○牧野政府委員 十分諒承致シマシテ、其

點ヲ注意致シマス

○向井委員長 風見君

○風見委員 私ハ質問ハ後廻シトシテ、今日ハ委員長ヲ通ジテ材料ヲ御願シタイと思ヒマス、船舶改善補助法ノ效果ヲ示スニ足ル事實ヲ明ニスル數字ヲ一ツ伺イタイと思ヒマス、最近ニ於ケル輸入外船ノ年齡及何處カラ輸入シタカト云フコトガ分ルモノヲ御願シタイ

○牧野政府委員 承知致シマシタ

○向井委員長 村上紋四郎君

○村上委員 此船舶安全法ハ時代ニ適シタ最モ適當ナル法律デアルト思フノデアリマス、之ニ付テ二三御尋ラシテ見タイと思フノデアリマス、先ヅ第二條ノ第十二項ニ電氣ノ設備ト云フコトガアリマス、而シテ此電氣ノ設備ヲシマスルノハ、總噸數五噸未満ノ船、次ニ櫓權ヲ以テ運轉スル船、其他主務大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶、此二ツヲ除キマシテ、其他ノモノニハ全部適用スルコトニナッテ居ルノデアリマス、併シ但書ニ於キマシテ、主務大臣ニ於テ特ニ櫓權ヲ以テ運轉スル船、其他主務大臣ニ於テ特ニ定ムル船舶ト、斯ウ云フ除外ガアルノデアリマス、御承知ノ通り近時發動船ガ長足ノ進歩ヲ致シマシテ、其船數ハ隨分多數ニ上ッ

テ居ルト思フノデアリマス、私ノ縣ニ於キマシテモ、五噸以上二十噸未満位ノ發動機船ガ非常ニ多數ニ上テ居リマシテ、是ガ運輸交通ノ便ヲ助ケテ居リマスルコトハ隨分多イノデアリマス、所ガ御承知ノ通り發動機船ナルモノハ、資力ノ乏シイモノガ多ク經營シテ居ルモノデアリマスカラ、電氣ノ設備ノ如キハ中々困難デハナイカト思フノデアリマス、又常ニ日中ヲ航海スルモノデ夜間ノ航海ハ殆ドナイノデアリマス、サウ致シマスレバ電氣ノ設備ノ如キハ殆ド其必要ガナイノデアリマスガ、當局ハ如何ナル御考デアリマセウカ、之ヲ伺ヒタイノデアリマス

モウ一ツハ從來ハ總噸數二十噸未満ト云フコトデ、總テノ事柄ガ二十噸ヲ以テ區劃トシテ居ッタノデアリマスガ、特ニ今回五噸ニ縮メマシタノハ國際條約ニ依ッタモノデアリマセウカ、又其他ニ理由ガアルノデアリマセウカ、伺ヒタイ

尙ホ第四條デアリマスガ、先刻佐々木君ノ質問ニ對シマシテ、無線電信ヲ施設スベキ船舶ハ、遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル總噸數千六百噸以上ノ船舶ハ六艘、遠洋區域又ハ近海區域ヲ航行スル旅客船、十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶ハ五艘、總

噸數百噸以上ノ船ハ十艘ト云フヤウナ御答デアッタヤウデアリマスガ、十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ有スル船舶ハ隨分多イト思フ、其内デ今現ニ無線電信ヲ持ッテ居リマスモノガ五艘デアリマセウカ、而シテ此十二人ヲ超ユル旅客定員ヲ持ッテ居リマス船舶ト申シマシテモ、亦是モ前項ニ依リマシテ主務大臣ノ許可ヲ受ケルト致シマスレバ、之ヲ施設スル必要ハナイヤウデアリマスガ、サウ致シマス主務大臣ガ許可ヲスベキ船舶ハ、凡ソドウ云フ船舶ニ對シテ特別ノ扱ヒニセラルルデアリマスガ、此點ヲ伺ヒタイ

○淺野政府委員 第一ノ御質問ハ、第二條十二號ノ電氣設備ニ關スル御質問ノヤウニ拜聽致シタノデアリマスガ、電氣設備ニ付キマシテハ只今御例示ニナリマシタ五噸以上二十噸未満ノ發動機船、斯ノ如キ種類ノ船ニハ適用ガナイト考ヘラレルノデアリマス、ト申シマスノハ電氣設備ヲ有スル船ニ對シテ檢査スルノデアリマシテ、電氣設備ノ無い船ニ對シテハ此條項ハ適用ガナイコトニナルノデアリマス、二條ノ一項ノ二號ニ付キマシテモサウデアリマスガ、準帆船ニ付キマシテハ二號ニ機關トアリマシテモ、機關ノ檢査ハ致サナイノデアリマス

第二ノ御質問ノ二十噸未満ノ船舶ニ對シテ、本法カラ適用ヲ除外シタノハドウ云フコトカト云フ御趣旨ノヤウニ承ッタノデアリマスガ、二十噸未満ノ船舶ニ對シマシテハ三十二條ヲ御覽下イマス、是等ノ船舶ニ對シマシテハ當分ノ内本法ヲ適用シナイコトニナッテ居ルノデアリマス、五噸以上二十噸未満ノ發動機ヲ有スル船舶ガ近來非常ニ發達シテ參ッタノデアリマス、又二十噸以上ノ平水航路ヲ航行スル帆船ノ如キモ、發動機ヲ備ヘマシテ、相當多數ノ船ガ運航シツ、アルノデゴザイマスルガ、是等ノ船ハ航行區域ト云フモノヲ定メテ居リマスガ、其堪航性ノ有ル無シニ拘リマセズ、隨分遠方マデ出掛ケマシテ、海難ヲ起サユナ事例ガ多イノデゴザイマス、是等ノ船舶ニ付キマシテモ、構造設備ニ關スル規定ヲ適用スルト云フコトガ必要デアラウトハ考ヘラレマスルケレドモ、豫算ノ關係カラ申シマシテ、今直チニ之ニ對シマシテ、檢査ヲ行フト云フコトガ出來ナイノデゴザイマシテ、當分ノ中此二條ノ一項ノ規定ノ適用ヲ除外スルト云フ立前ニナッテ居ルノデゴザイマシテ、實際ノ適用ノ關係ニ於キマシテハ、當分ノ間ハ現行法ト大體ニ同ジ範圍デゴザイマス

尙ホ第四條二號ニ付テノ御質問デゴザイマスガ、先刻此適用ヲ受ケル船ハ五艘ト申上ゲタノデアリマスガ、實際上ソレ以上ニモ近海航路ヲ航行スル十二人以上ノ旅客ヲ搭載スル船ガアルカモ存ジマスガ、是等ノ船ハ、條約ノ關係ニ於キマシテ、相當除外スルヤウナ規定ガゴザイマスノデ、ソレ等ヲ除外致シマシテ、實際本法ヲ適用シナケレバナラヌ船ガ五艘ニナルノデアリマス

○村上委員 只今ノ政府委員ノ御答辯ニ依リマス、電氣設備ヲシテナケレバ宜イノデアアル、電氣ノ設備ヲシテ居レバ檢査ヲスル、サウ云フヤウナ御話デアアルヤウデアリマスガ、第二條ニハ斯ウ書イテアル「船舶ハ左ニ掲グル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス」トアル、サウシマスルト成程除外例ハ設ケテアリマスケレドモ、本文ニ依ッテ見マスルト「船舶ハ左ニ掲グル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス」トアルノデアリマスカラ除外例ノナイモノハ本法ニ依ッテ電氣ノ設備ヲシナケレバナラヌト云フコトニナリハシナイノデアアルカ、斯ウ私ハ思フノデアリマス、ソレトモウ一ツハ、此三十二條ノ「第二條第一項ノ規定ハ右ニ掲グル船舶ニハ當

分ノ内之ヲ適用セズ」トアルノデアリマス、ソレハ「總噸數二十噸未満ノ帆船」、「總噸數二十噸未満ノ漁船」、「平水區域ノミヲ航行スル帆船」トアリマシテ、發動機船ノ如キハ帆船ト見ルベキモノデナイト思フノデアリマス、サウ致シマスルト、此除外例ニ依ッテ、總テノ事柄ヲ除外セラレルト云フヤウナコトニナルノデハナйкаト思フノデアリマス、是ハドウ云フ御考デアリマスカ

○淺野政府委員 第一ノ御質問ノ第二條關

係ノ電氣設備ノコトデゴザイマスルガ、只今御讀ミ戴キマシタヤウニ「船舶ハ左ニ掲グル事項ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ施設スルコトヲ要ス」トゴザイマスルノデ、先刻御例示ニナリマシタヤウナ小型ノ船舶ニ付キマシテハ、命令ヲ以チマシテソレ等ノ設備ヲ必要トシナイト云フノデアリマス

次ハ三十二條ノ御質問デゴザイマシタガ、發動機船デゴザイマシテ、二十噸未満ノモノガ除外サレヌデハナйкаト云フ御趣旨デアッタヤウニ思ヒマスルガ、現在船舶ノ種類ト致シマシテハ、汽船、帆船ト、斯ウ區別致シテ居ルノデゴザイマス、實際問題ト致シマシテ、五噸以上二十噸未満ノ發動機船ハ、發動機ヲ有シマス同時ニ帆裝ヲ持ッテ居ルノデゴザイマシテ、現在ニ於キマ

シテハ、帆船トシテ事實上取扱ハレテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、隨ヒマシテ本法ノ適用カラ當分ノ中除外サレルコトニ相成ルノデゴザイマス

○村上委員 私ノ質問ハ是デ打切りマス

○向井委員長 今日ノ所、他ニ御質問モナイヤウデアリマスカラ、今日ハ是ニテ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會スルコトニ致シマス

午後三時三十分散會